

九州・山口県の火山活動 (令和8年6月1日～7月21日)

令和8年7月21日
福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

今回のポイント

- ・桜島で噴火活動が継続
- ・阿蘇山で噴火警戒レベルを2に引上げ
- ・口永良部島で噴火警戒レベルを2に引上げ
→その後、1に引下げ

桜島

噴火警戒レベル3（入山規制）

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2 kmの範囲で警戒（大きな噴石、火砕流）

阿蘇山

噴火警戒レベル2（火口周辺規制）

中岳第一火口から概ね1 kmの範囲で警戒（大きな噴石、火砕流）

噴火警報及び噴火予報の発表状況 (令和8年7月21日現在)

火山名 は噴火警戒レベル運用火山

▲ 噴火警報発表中の火山

▲ 噴火予報発表中の火山 (レベル運用火山)

△ 噴火予報発表中の火山 (レベル対象外火山)

鶴見岳・伽藍岳

7/17 : 解説情報発表

九重山

阿蘇山

噴火警戒レベル2

6/21 : 解説情報(臨時)発表、
火口周辺警報発表

雲仙岳

霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)

霧島山(大幡池)

霧島山(新燃岳)

噴火警戒レベル2

霧島山(御鉢)

桜島

噴火警戒レベル3

6/30 : 解説情報発表

薩摩硫黄島

噴火警戒レベル2

口永良部島

6/4、6/8、6/15、7/9 : 解説情報発表
7/9 : 火口周辺警報発表
7/17 : 噴火予報発表

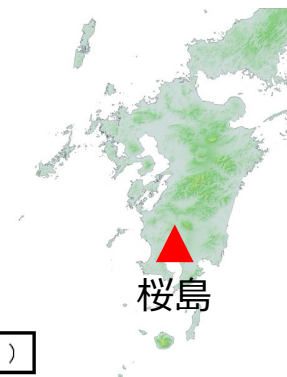
諏訪之瀬島

噴火警戒レベル2

0 10 50 100 km

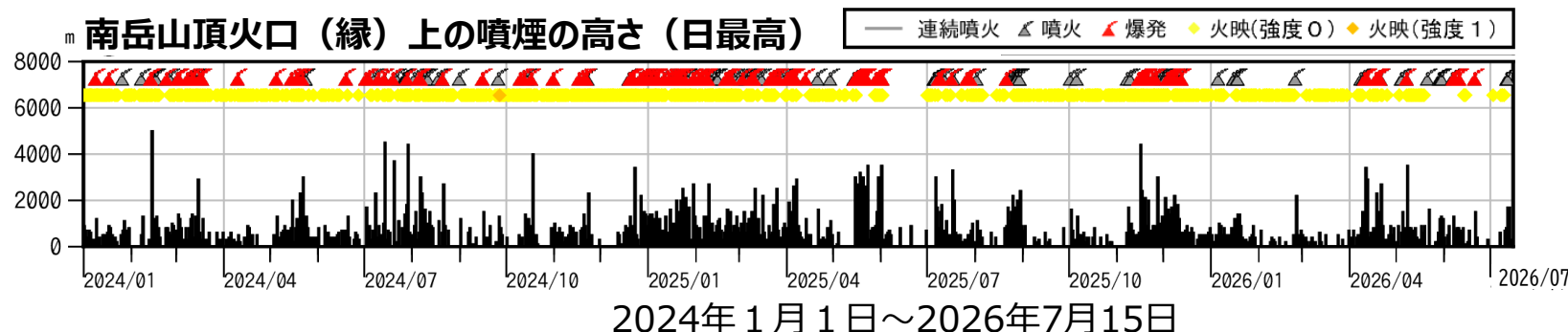
桜島

噴火警戒レベル3（入山規制）



■ 噴火活動

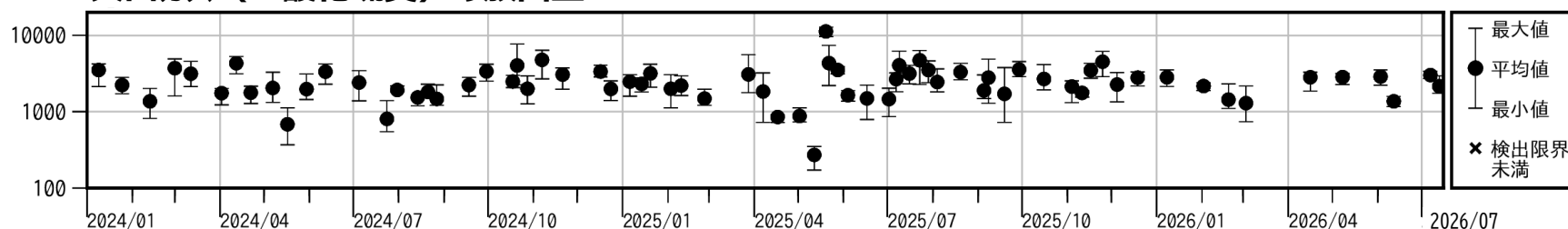
南岳山頂火口では、6月は噴火が7回（うち爆発は5回）、7月は20日までに噴火が4回（爆発なし）発生。



■ 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量

6月から7月20日の期間は1日あたり1,400トン～3000トンと引き続き概ね多い状態。

ton/day 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量



桜島

噴火警戒レベル3 (入山規制)

■傾斜計及び伸縮計による地殻変動の状況

噴火活動に伴うと考えられる地殻変動を観測。

▲噴火 ▲爆発

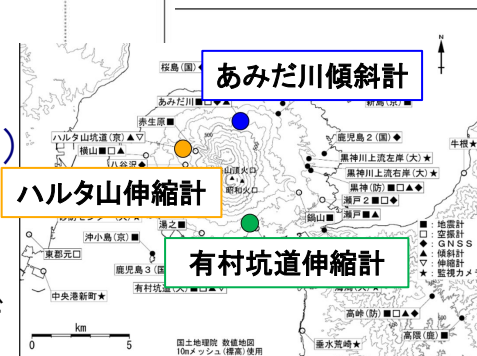
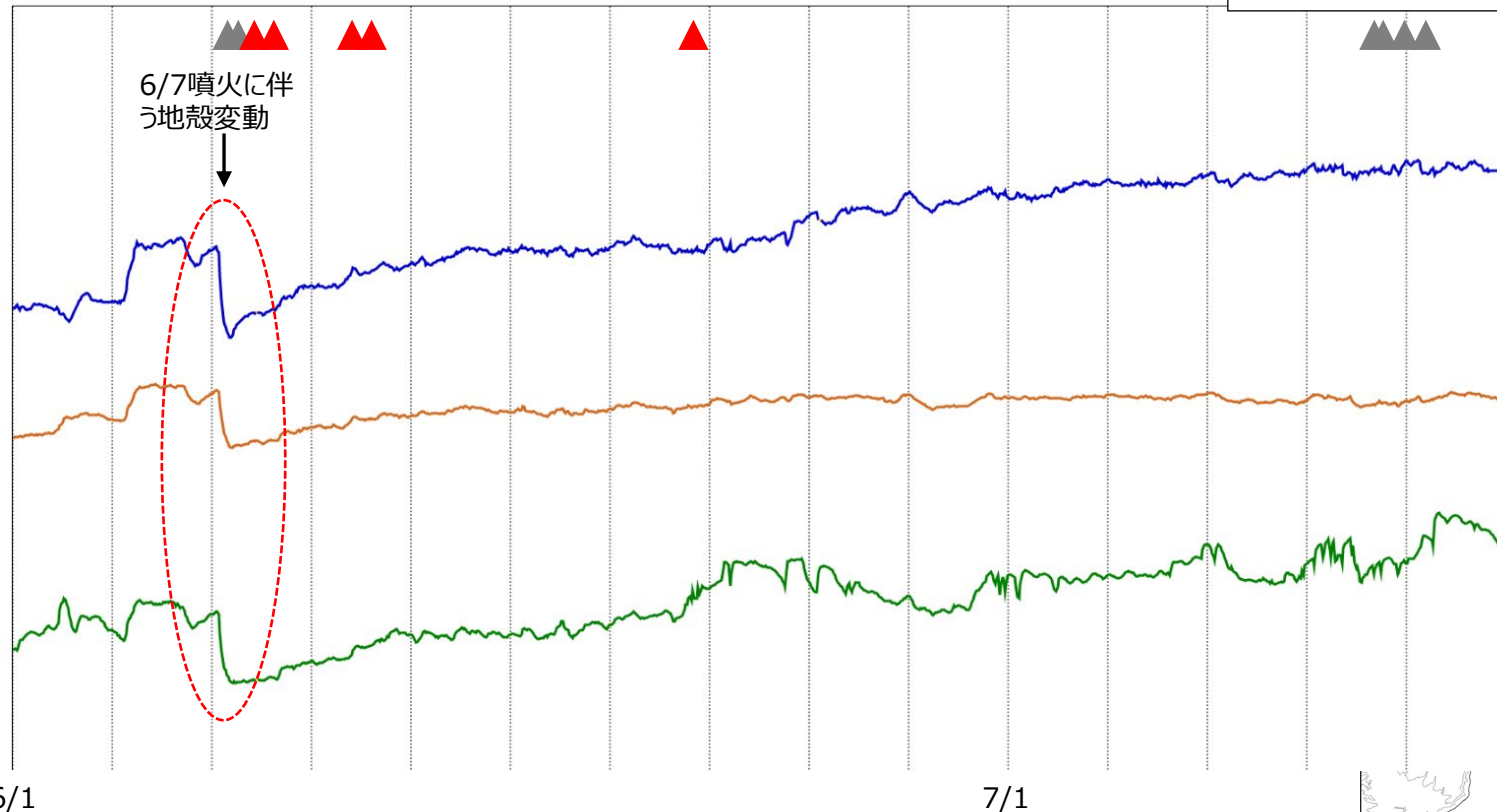
200nstrain
↑ 火口直交方向伸張
200nradian
↑ 火口方向UP



あみだ川
傾斜計
南北成分

ハルタ山
伸縮計
火口直交

有村坑道
伸縮計
火口直交



桜島 傾斜計及び伸縮計による地殻変動の状況(2026年6月1日～7月15日)

※あみだ川観測点は山頂火口域のほぼ北に位置していることから、傾斜計南北成分の南側が上がる傾斜変動を火口側が上がる変動とみなして表示。

※各観測点のデータには、潮汐補正を行っている。

※図の作成には、大隅河川国道事務所の有村観測坑道及び京都大学のハルタ山観測坑道の観測データを使用。

警戒事項

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね 2 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する**大きな噴石及び火砕流**に警戒してください。



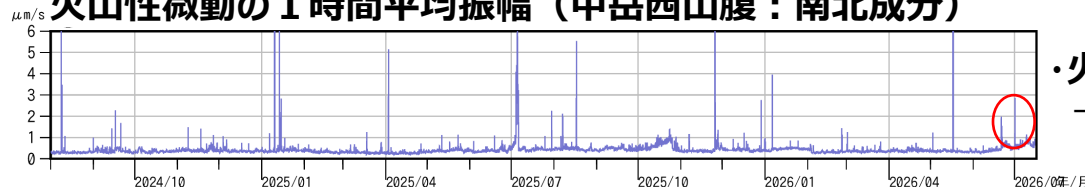
- ・風下側では**火山灰**だけでなく**小さな噴石**が遠方まで風に流されて降るため注意してください。
- ・爆発に伴う大きな**空振**によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。
- ・降灰状況により、降雨時に**土石流**が発生する可能性があるので留意してください。

阿蘇山

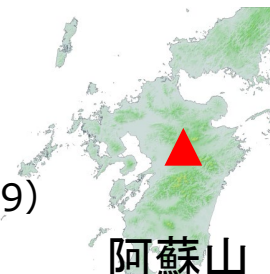
噴火警戒レベル2（火口周辺規制）

■ 活動の状況

火山性微動の1時間平均振幅（中岳西山腹：南北成分）

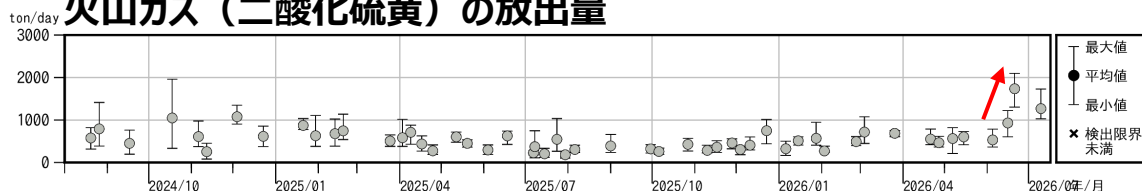


・火山性微動の振幅
一時的に増大（6/21,22,30,7/9）



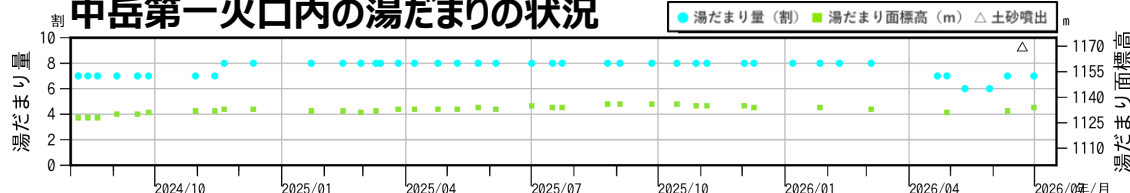
阿蘇山

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量



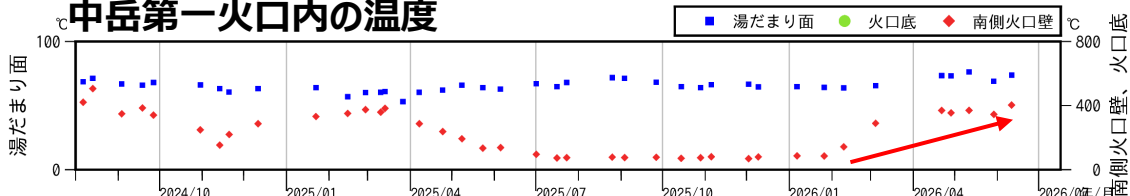
・火山ガス（二酸化硫黄）の放出量
6月：1日あたり500～1,700トン
7月：1日あたり1,300トン

中岳第一火口内の湯だまりの状況



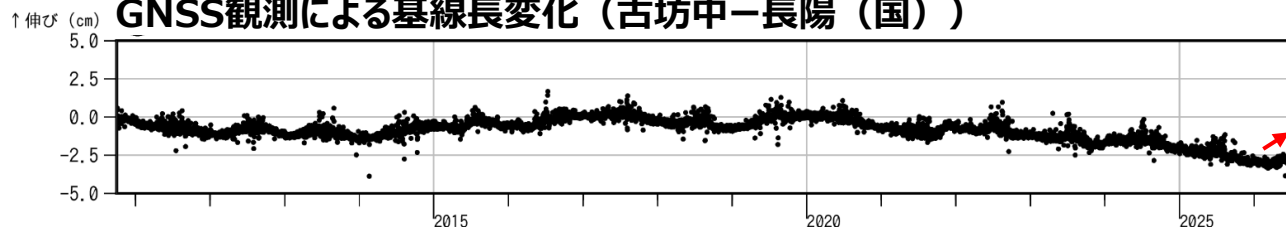
・土砂噴出
6月22日の発生後は観測していない

中岳第一火口内の温度



2024年8月～2026年7月16日

GNSS観測による基線長変化（古坊中ー長陽（国））



2010年10月～2026年7月15日

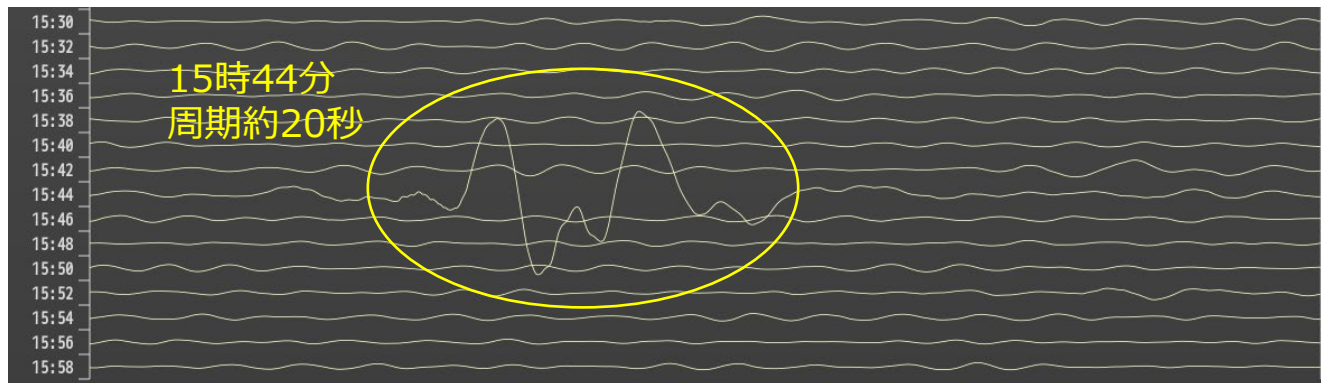
・GNSS観測による基線長
2026年5月頃から、マグマだまりへのマグマの蓄積を示唆する伸びが認められる。（赤矢印）

阿蘇山

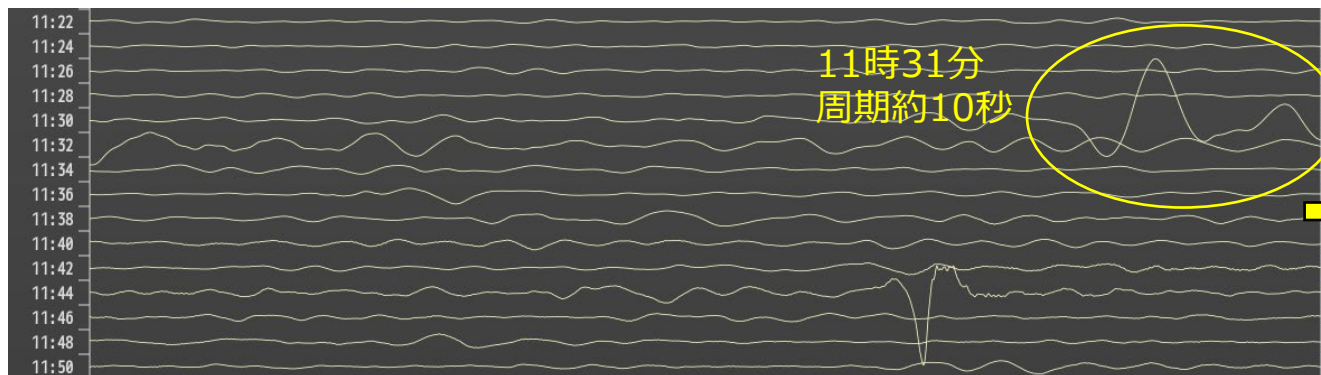
噴火警戒レベル2（火口周辺規制）

■ 7月9日 長周期パルスが発生

- ・7月9日15時44分に長周期パルス（非常に周期の長い震動）が発生。
長周期パルスの発生は2021年10月20日以来。



古坊中広帯域地震計上下動成分（バンドパスフィルタ：0.1Hz～0.03Hz）
2026年7月9日15時30分～16時00分



古坊中広帯域地震計上下動成分（バンドパスフィルタ：0.1Hz～0.03Hz）
2021年10月20日11時22分～11時52分



11時43分に噴火

※長周期パルスは、火山性微動の振幅や火山ガス（二酸化硫黄）の放出量等と合わせて、
噴火警戒レベル3へ引き上げる基準の1つになっています。

阿蘇山 防災上の警戒事項等

噴火警戒レベル2（火口周辺規制）

警戒事項

中岳第一火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する**大きな噴石及び火砕流**に警戒してください。



レベル3（入山規制）：

火口から概ね2km以内立入禁止。
規制範囲は居住地域付近（概ね4km）まで活動状況により変更。

○の範囲内。

・中岳・高岳等への登山道の立入禁止

レベル2（火口周辺規制）：

火口から概ね1km以内立入禁止。○の範囲内。

・阿蘇山公園道路は利用できません

レベル1（活火山であることに留意）：

火口内等常時立入禁止。

○の範囲内。

凡例

- : 一般道
- : 国道
- : 登山道
- : 中岳第一火口
- : 居住地域

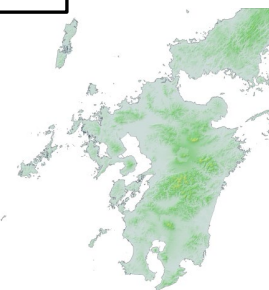
- ・風下側では、**火山灰**だけでなく**小さな噴石**が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。
- ・地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島

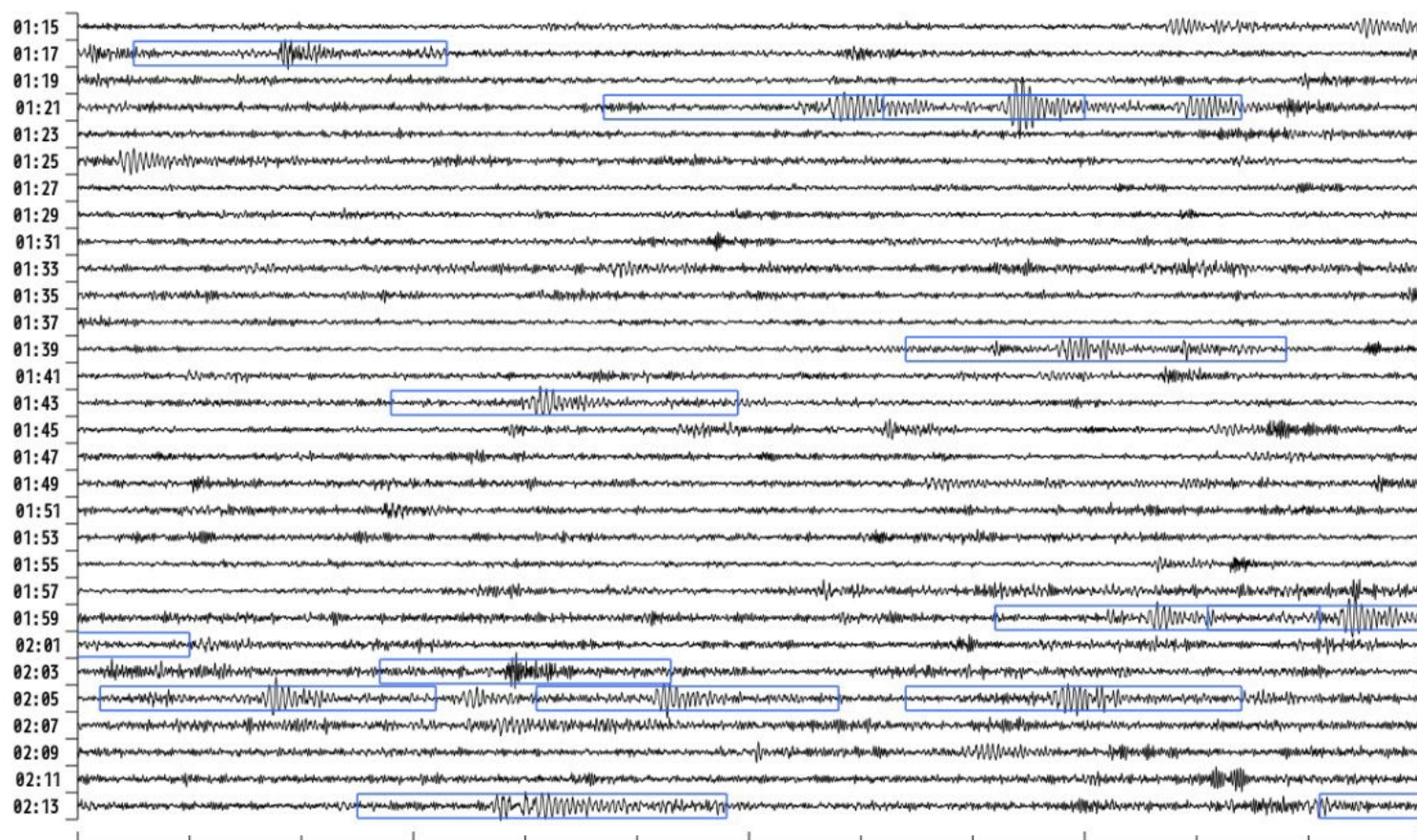
噴火警戒レベル 1（活火山であることに留意）

■ 噴火警報（火口周辺）、噴火予報の発表

- ・ 7月9日 噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 2（火口周辺規制）へ引上げ
 - ・ 7月17日 噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）へ引下げ
- 当初、火山性地震の増加と判断した 7月9日の地震計の波形（[下図青囲み](#)）について、精査を行ったところ火山活動に伴うものではないと判断しました。



口永良部島



地震計の 1 時間波形（古岳北地震計上下動成分：2026年 7 月 9 日 01 時 15 分～02 時 15 分）

口永良部島 防災上の警戒事項等

噴火警戒レベル1（活火山であることに留意）

防災上の留意事項

- 活火山であることから、新岳及び古岳の火口内では、火山灰等が噴出する可能性があります。



- 新岳西側割れ目等の地熱域では、高温の噴気や火山ガス等に注意してください。
- 地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

レベル1：状況に応じて火口内への立入規制等

以下、参考資料

（用語集、噴火警戒レベルの判定基準リンク集）

用語集及び噴火警戒レベルの判定基準について

- **噴石** : 気象庁では、噴火によって火口から吹き飛ばされる防災上警戒・注意すべき大きさの岩石を噴石と呼んでいる。火山に関する情報では、防災上の観点から、「大きな噴石」および「小さな噴石」に区分して使用する。
 - ・**大きな噴石** : 概ね20～30cm以上の、風の影響をほとんど受けずに弾道を描いて飛散する噴石のこと。
 - ・**小さな噴石** : 直径数cm程度の、風の影響を受けて遠方まで流されて降る噴石のこと。
- **火砕流** : 噴火により放出された破片状の固体物質と火山ガス等が混合状態で、地表に沿って流れる現象のこと。火砕流の速度は時速百km以上、温度は数百℃に達することもあり、破壊力が大きく、重要な災害要因となりえる。
- **空振** : 噴火などによって周囲の空気が振動して衝撃波となって大気中に伝播する現象のこと。空振が通過する際に建物の窓や壁を揺らし、時には窓ガラスが破損することもある。火口から離れるに従って減速し音波となるが、瞬間的な低周波音であるため人間の耳で直接聞くことは難しい。
- **火山性地震** : 火山体またはその周辺で発生する地震のこと。マグマの動きや熱水の活動等に関連して発生するものや、噴火に伴うものもある。火山によっては火山活動が活発化すると多く発生する傾向がある。
- **火山性微動** : 火山体またはその周辺で発生する火山性地震よりも継続時間の長いもの。地下のマグマや火山ガス、熱水などの流体の移動や振動が原因と考えられるものや、微小な地震が続けて発生したことによると考えられるものがある。火山活動が活発化した時や火山が噴火した際に多く観測される。
- **火映** : 高温の溶岩や火山ガス等が火口内や火道上部にある場合に、火口上の雲や噴煙が明るく照らされる現象のこと。一般には夜間に観察される。
- **赤熱** : 高温の溶岩や噴気孔が赤く見える状態、あるいは現象のこと。
- **GNSS連続観測** : GNSS（全球測位衛星システム：Global Navigation Satellite Systems）の受信機を用いて連続的に地表の動き（地殻変動）を測定する観測。火山内部のマグマの動きを推定するために利用される。
- **爆発** : 噴火の一形式。桜島や霧島山など、「爆発」の用語が地元で定着している場合には、爆発地震の有無、空振の大きさ、大きな噴石の飛散距離などの条件を満たす噴火について、「爆発」を使用することがある。

✓ 気象庁が噴火警報等で用いる用語集はこちらからでも確認できます。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

✓ こちらで全国の噴火警戒レベルの判定基準とその解説が確認できます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/level_kijunn/keikailevelkijunn.html